



「不屈」NO.569 付録
石川版 NO. 327
2021年11月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町5-13
石川県平和と労働会館2F
国民救援会石川県本部気付
TEL・FAX 076-262-3447

第49回衆議院総選挙（10月31日投票）

野党統一候補 62選挙区で勝利 32で惜敗

共闘効果をさらに発展させ、改憲策動を許さず、政権交代を実現しよう！

今回の総選挙では、立民・共産・社民・れいわの4野党が共闘し、214の小選挙区で統一候補をたて闘いました。戦後政治史では初めてのことで、

政権交代に必要な議席数に届かなかったとはいえ、野党共闘が効果を発揮したのは明瞭です。前回総選挙と比較すれば4野党は42議席を増やしています。また、32の選挙区で自民候補を土俵際（1万票差）まで追い詰めています。

残念ながら自公政権与党とその補完勢力の安定多数を許す結果となりましたが、惜敗した32選挙区で勝利すれば自民党は確実に単独過半数割れしていきなりになります。

私たちは岸田自公政権が、野党共闘が進めばもう2度と来な

いかもしれない安定多数のこの時期を逃さず、憲法改定の策動を強めることを警戒しなくてはなりません。

自民党は総選挙の公約に、「自衛隊の明記」「緊急事態条項」など改憲4項目を掲げています。岸田首相は「憲法改正に向け、精神的に取り組む」と述べています。維新の会は、一来年の参院選挙までに改正案を固めて（参院選の投票と同時に）国民投票を実施すべきだ」と改憲策動の先兵の役割を果たしています。

あらゆる分野で、草の根から国民的な世論と運動を起し、その力で岸田政権を包囲し、政治を変える新たな闘いが今求められます。

私たち「国賠同盟」の要求と運動も、あらゆる分野での草の根からの国民的な世論と運動の一翼として、さらに強く大きくすることが求められています。

今回の総選挙で国賠同盟は「同盟要求実現選挙」と位置づけ、私たちの国会請願要求を支持し紹介議員となる衆議院議員の多数派形成を目指す第1歩として、「為書き（檄）」と「要望書」を野党候補者に届ける行動を行いました。

石川県でも、1区亀田良典、2区坂本浩、3区近藤和也の各候補者に「檄」と「要望書」を届けました。以下は「要望書」全文です。

2021年度署名開始
(6月1日から)。

国会請願署名

の集約状況

2021年11月1日

個人署名

目標 3,000 筆
到達 129 筆

団体署名

目標 250 筆
到達 3 筆

衆議院議員総選挙候補者

(亀田良典・坂本浩・近藤和也) 先生

2021年10月17日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 中央本部会長 増本 一彦
県本部会長 尾西 洋子

要 望 書

1 私たちは、1925年制定の治安維持法による苛烈な弾圧に抗して、朝鮮半島・台湾などの植民地支配と中国・東南アジアへの侵略戦争に反対して、絶対主義的天皇制の政治体制を、両性の平等にもとづく国民主権主義による平和と民主主義の日本に変えるために生命を賭して闘い抵抗した治安維持法犠牲者等に対する人権と名誉回復をすることが「再び、戦争と暗黒政治を許さない」ために必要不可欠と考えて、活動している市民団体であります。

私たちは、この目的の実現のために、次の三項目を柱にした「治安維持法犠牲者国家賠償特別法」の制定を市民と野党の協力・共同の力で実現することを求めて、約50年にわたって毎年の通常国会に請願を行ってまいりました。

(請願三項目)

① 国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること。

② 国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと。
③ 国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること。

2 治安維持法による犠牲者の実態は、私たちや研究者の今日までの調査・研究によれば、特高警察などの権力によって逮捕された人は数十万名、思想検察のもとに送検された人

とは、国民の良識の声であります。

4 私たちは毎年、国会請願要請行動を繰り返し、その結果、今年の通常国会でも衆参両院議員120名余の諸先生が請願紹介議員になってくださいました。さらに多数の衆参両院議員の諸先生が請願紹介議員となってくださいることが重要であります。そのために、私たちは、今回の衆議院議員選挙を「国会請願要求実現選挙」と位置づけて、「市民と野党の協力・共同」の発展・強化の立場で奮闘される野党候補者への支持・支援を決定し、全国各地で取り組みを強めてまいります。

そこで、この衆議院議員総選挙の勝利を目指して奮闘される先生に、以下の要望をいたしたく、本要望書に「概文」を添えて提出する次第です。

- (一) 「当選の暁には、私たちの上記国会請願の採択のために、是非とも紹介議員になってください」と。
- (二) 「市民と野党の共同」の発展・強化のために、さらなる「尽力をください」と。
- (三) 今後とも、私たち治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の上記請願三項目の実現のために、「ご理解とご協力をください」と。

先生の、今度の衆議院議員選挙での勝利をかちとることを祈念申し上げます。そして、自公政権に変わる野党の協力・共同による新しい「国民連合政権」の樹立のためにご尽力ください。 不一

新会員の紹介 (143名) 大会比プラス5)

一色眞一氏 (加賀市議会議員)

同盟北陸信越ブロック交流会

(長野—新潟—富山—石川—福井)

11月25日(木)13:30~26日(金)12:00

津幡町 旅館「勝崎館」076-289-2161

参加費(1泊2日) 10,000円 ですが

県本部から5,000円を補助します。

11月25日 13:50~15:00

記念講演 平野喜之氏(浄専寺住職)

鶴彬を顕彰する会事務局長

11月25日 15:00~26日 12:00まで

- ・中央本部からの基調報告
- ・各県からの報告と交流

中間地方選挙(9月・10月)の結果

羽咋市議選挙 (9月5日投票)

北川真知子 670票・次点

加賀市議選挙 (10月3日投票)

一色眞一 1152票・当選

能美市議選挙 (10月10日投票)

近藤啓子 1371票・当選

七尾市議選挙 (10月24日投票)

磯貝和典 844票・22位落選

は68、274名(起訴された人6、550名)、警察署で拷問によって虐殺された人は93名、刑務所・拘留所における虐待・暴行・発病などによる獄死者400人余にのぼっており、その正確な実態の解明にはさらに国の調査に待たねばなりません。そして、国は悪法を執行した責任から、その実態を調査し、その結果を公表する義務があります。

特に、「再び、戦争と暗黒政治を許さない」日本国憲法の精神に鑑みても、国は日本の平和と民主主義、基本的人権の確立のために、戦前・戦中の人権の重大な侵害の事実を明らかにして、二度と再びその轍を踏まない決意を国の内外に明らかにしなければならぬと考えるものであります。世界では、日本と三國枢軸を組んで敗戦となったドイツ、イタリアでも、また戦勝国となったアメリカ、カナダ、スペイン、イギリスでも、戦前・戦中の弾圧犠牲者に対する国の謝罪と賠償措置が進められております。

ところが、わが国では、歴代自民党政権は今日にいたるまで、治安維持法は適法に成立したものであって、その執行も適正であったなどと事実上反する主張して(その最近の例が、2017年6月2日の衆議院法務委員会における、畑野君枝議員の質問に対する当時の金田法相の答弁です)、治安維持法犠牲者等に対して生命と自由を奪うことまでした人権と名誉の侵害の救済に反対し、特定秘密保護法、安保法制、共謀罪法や最近の土地利用制限・監視法の強行にみられるように、「現代版・治安維持法」と批判されるような施策を強行しております。

3 私たちは、上述の国会請願三項目が国会において採択されるには、先生をはじめ野党の政治家各位が「市民との共同」「野党の共闘」をいっそう強化・発展させる立場に立たれて、ご奮闘くださいることであると考えます。

そして、菅義偉自公政権に変わる新しい政権は「市民と野党の協力・共同」による「国民連合政権の実現」にあるこ

5回の治安維持法弾圧(1929-40)を受けた 旧制松本高校から

歴史的選挙と同時進行で撮影開始！



◀東京女子大社会科学研究会を作ろうと提案する伊藤千代子(写真奥手中央に立つ格姿・主演=井上百合子さん)とロケ撮影隊。旧制松本高校校舎をバックに(21.10.11 午前)

一凛々しく力強く発声し演技する井上百合子さんは、伊藤千代子の姿そのものだ。

10月11日午前8時半、松本平は雲一つない快晴。歴史的映画撮影が開始された

この日の映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の撮影は、長野県の民主的勢力が市民と共同して残してくれた戦前の歴史が刻み込まれた文化遺産である旧制松本高校校舎と旧松本裁判所(国の重要文化財指定)内で行われた。

午前中の撮影は、松本平の中心地/県(あがた)の森に桂荘三郎監督のもとに集結した20人のロケ隊が早朝から準備した旧制松本高校校舎内と校内芝生を東京女子大に見立てたシーンから開始。

午後からは、旧松本裁判所が移築された「歴史の里」に現存する少年院独房を使って伊藤千代子が塩沢富美子(共青同盟員、のち野呂栄太郎夫人)らと「再会」し、激励しあい、獄中闘争を展開するシーンが中心に置かれた。

撮影隊は、12日も松本で伊藤千代子と浅野晃の話し合いシーン、千代子らをかばう嵐圭史氏扮する老人などを撮影、13日は奈良井宿に結集した国賠同盟員らのエキストラのピラ配りや受け取り手の撮影。14日はよいよ伊藤千代子の生地・諏訪に移動し、浅野晃プロポーズシーン(高島城)、墓所・顕彰碑、又いとこの平林さんの墓参シーンなどの撮影が予定されている。

今後の予定 この後、撮影隊は山梨県本栖湖(諏訪湖シーン)、小田原郊外の南足柄市での高島小学校シーンなどを撮影、17-18日は再び松本に移動。山一林組争議シーンなどの撮影に続く。後半は、茨城県での労農党本部事務所、女子大学生寮シーン、千葉県木更津市と御殿場での松沢病院シーン、埼玉県深谷市での特高警察の追跡をかわす千代子、安井てつ東京女子大学長役出演の竹下景子さん撮影などが予定されている。いずれも国賠同盟呼びかけのエキストラ出演者が続々と登場する。

映画製作資金350口に到達 奇しくもこの日、治安維持法倍同盟北海道本部と山形県本部からの各1口の「製作資金(上映債権)」が事務局に到着し、349口目、350口目を達成。撮影開始時の財政的基盤を確実なものとする事ができた。

今各地で450口をめざす取り組みが力強く進み始めている。震災で打撃を受けた福島県、高齢化の困難に直面した茨城県や鹿児島県等でも治安維持法国賠同盟と共に民主勢力が力を合わせて実行委員会を作りつつあり、今後の発展につながる展望が開かれつつある。秋田県、宮城県、岩手県など東北各県での取り組みも着実に前進。

全国の牽引車となっている北海道では、全道に運動が広がり51口まで到達しつつあり、近く全道実行委員会の結成が行われる。22年からの上映運動をにらんで全国過半数に全県規模の実行委員会作りが進行している。